

区バス等キャッシュレス決済導入実証実験について

1. 目的

新型コロナウイルス感染拡大の要因となる接触機会を減らし、感染抑制に向けた衛生環境を構築するとともに利用者の利便性向上を図るため、ICカードなどのキャッシュレス決済が未対応の区バスにおいて、キャッシュレス決済システムの導入社会実験を実施。

一部路線では、バスを利用した方にクーポンを発行することも予定しており、商店や観光施設などと連携することで、区バスなどの利用促進と地域振興の需要喚起を同時に実現させ、地域経済の再興を図る。

2. 概要

(1) 導入路線

- ・秋葉区バス（新津駅小須戸循環ルート）：対キロ運賃
- ・南区バス（まちなか循環ルート）：均一運賃
- ・新潟市観光循環バス：1日乗車券
- ・北区バス（太郎代浜ルート）：均一運賃
- ・西蒲区バス（中之口ルート）：対キロ運賃

(2) 実施内容

【秋葉区バス、南区バス、新潟市観光循環バス】

- ・ICチップを埋め込んだシール（NFCタグ）を活用したスマートフォンによる決済システムの導入
- ・NFCタグを活用した商店や観光施設などとの連携（クーポン発行）

【北区バス、西蒲区バス】

- ・PayPay株式会社の「PayPayアプリ」による決済
- ・2次元コードをスマホで読み込んで支払う「ユーザースキャン」

3. スケジュール

導入時期：R3年3月を予定

◆R3年度以降(予定)

令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2022)	令和6年度(2023)
社会実験	社会実験	社会実験	本格導入
運賃精算 クーポンの発行※1	運賃精算 クーポンの発行	運賃精算 クーポンの発行	運賃精算 クーポンの発行
商店・観光施設と連携※2	商店・観光施設と連携	商店・観光施設と連携	商店・観光施設と連携

※1、※2：秋葉区バス、南区バス、新潟市観光循環バスのみ

NFCタグを活用したキャッシュレス決済（案）

1. バス車内に設置したNFCタグをタッチまたはQRコードをスキャンする



- ・ NFCタグは、ICチップに区バスの情報を埋め込んでいます。
- ・ スマートフォンをかざすだけで読み取ることができます。
- ・ NFCタグは、バス車内以外に、バス停などにも設置する予定です。

2. お手持ちのスマートフォン画面で決済を行う

現時点でのイメージです



3. 降車時に確認画面を運転士に掲示する

- ・ バス種別、区名、路線名を選択
※バス種別（区バス、観光循環バス1日券）、区名（南区、秋葉区）、路線名（まちなか循環ルート、秋葉区バスのルート）
- ・ 乗車および降車バス停を選択
- ・ 人数を選択（料金は自動的に入力される）
※一度に数名の乗車券が購入可能
- ・ 選択した乗車券の金額をスマートフォンで決済



■決済種別

